渡邊一文

わたなべ　かずふみ

深刻な鳥獣被害

～面積29ha、
金額3000万の被害～

質　**鳥獣被害が庭先まで広がっている。市の対応は。**

答　**産業経済部長**

鹿、いのししなどによる被害は、年々拡大傾向にあり、本市の取り組みとしては、鳥獣被害防止特別措置法に基づき、「豊後大野市鳥獣被害対策協議会」を設置したところです。

現時点で、禁猟期間をなくすことは難しいが、駆除については、猟期終了日の翌日から年間を通じて、いつでも許可できます。

しかし、事務手続き上、1、2週間ほどの時間を要するため、駆除できない期間が生じることがあります。

幼保の連携は

～課題を整理～

見て見て、かわいいおはしでしょ。（緒方保育園）

質　**保育士免許と幼稚園教諭免許の両方を持っている市職員は、それぞれに勤務できないのか。**

答　**総務部長**

関係者39名のうち、30名が保育士と幼稚園教諭の両方の免許を有していますが、相互の配置換えは、犬飼を除いて行われていない状況です。

本市が考える行政改革のもと、保育所などの施設の民営化及び幼保一元化の課題と整合性を保ちながら、当面は、配置換えに伴う課題などを整理し、取り組みたいと考えているのでご理解いただきたい。

早期完成が望まれる高規格道路（大野インター付近）

深田征三

ふかた　せいぞう

地域振興策は如何に

～まだ道半ば～

質

本市の状況を、過疎・高齢化・少子化と表現するが、その対策は。

第一次総合計画は、新しいまちづくりの指針であり、豊後大野市のすべての計画の基本となるもので、平成19年3月に策定された。

市長は、これに基づき「少子化対策」や「雇用機会の創出と人口流出の防止策」、「企業誘致の促進と地域産業などの活性化」、「道路網の整備」など充実させ、市の基盤づくりに4年間を真剣に取り組んできたと言っているが、具体的な成果は見えない。

さらに教育委員会は、学校統合基本計画を示し、来年度、上緒方小・小富士小・長谷小（ながたに）・犬飼小通山（とうりやま）分校の統廃合が実施される。

また、平成23年度から複式学級になる菅尾小もこの計画に入っており、その上、百枝（ももえだ）小・新田（あらた）小・清川小の3校は、5年後に統廃合するとの計画が示されている。

このような中、市の若者定住対策の現状は。

答　企画部長

現在、地域高規格道路整備事業は、沿線地域の交流連携を活発にし、地域活性化を促進する道路と位置づけられ整備が進められています。

市では、工業誘致にむけた取り組みを強化して、大野町田代地区で工場適地選定のための水量及び地質調査を進めています。

また、大分市の衛星都市機能として、ベッドタウン構想があり、若者が住める住宅開発や住宅整備は、過疎化対策に一定の効果をもたらすものと考えています。